

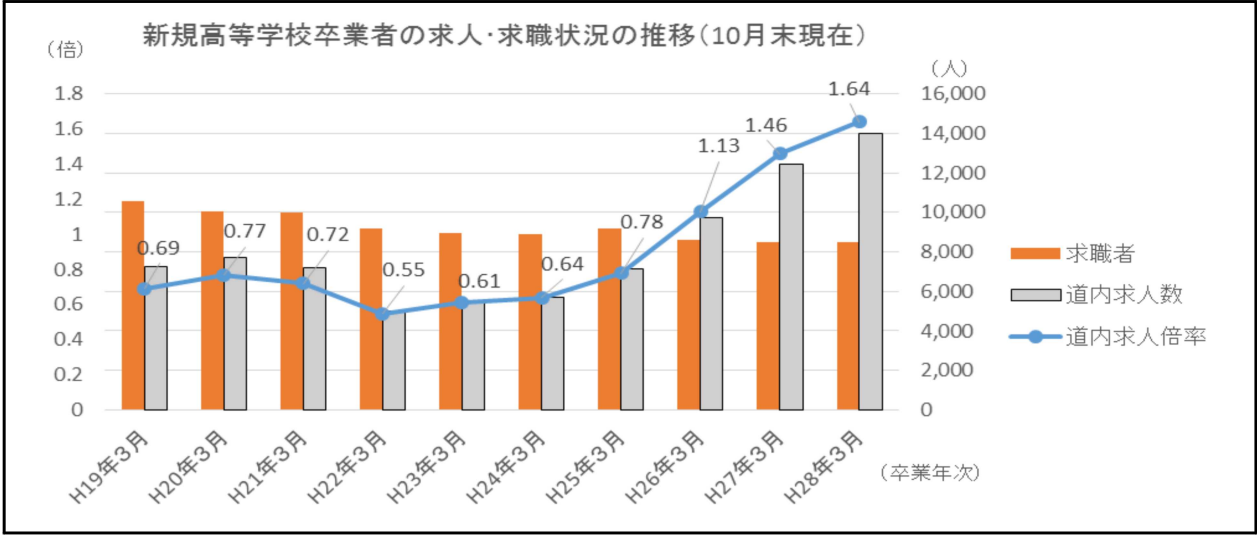
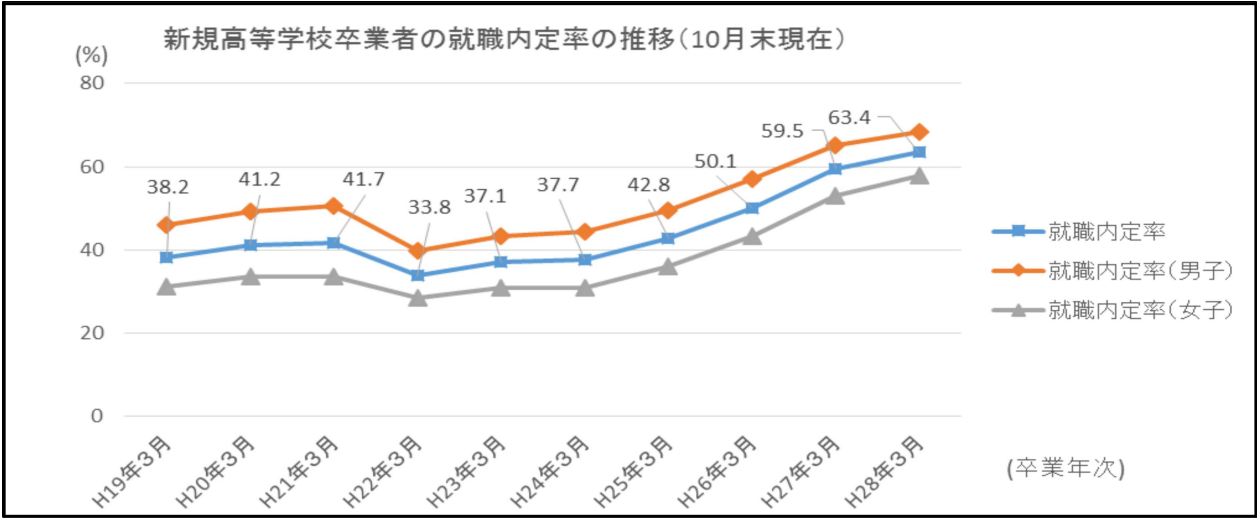
# 就職内定率は63.4%に

北海道労働局が、11月25日に発表した「平成28年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況」（10月末現在）によると、就職内定率は63.4%と、前年同期を3.9ポイント上回り、平成4年以來の高水準となりました。

また、道内求人数は13,992人（前年同期比+1,579人、+12.7P）、求職者数は8,521人（前年同期比+27人、+0.3P）で、道内求人倍率も前年同期を0.18ポイント上回る1.64倍となり、統計開始以來の最高値となりました。

このように、全道的にみると、来春高校卒業予定の就職希望者にとっては、生徒優位の「売り手市場」となっていますが、求人については、地域や職種などに偏りがみられますので、道教委としては、今後も関係機関と連携し、求人の確保に努めることとしています。

- 【就職内定率の上位3管内】（道内20のハローワーク管内）  
 ①浦河81.8%（+12.4%P） ②稚内70.8%（-0.5P） ③苫小牧70.8%（+7.1P）
- 【産業別求人数の上位5業種】  
 ①卸売業・小売業2,367人（+17.6P） ②建設業2,253人（+11.3P）  
 ③製造業2,206人（+2.9P） ④医療・福祉1,880人（+12.0P）  
 ⑤宿泊業、飲食サービス業1,100人（+27.2P）



# 四者合同で新規学卒者の採用拡大を要請

## 道内5つの主要経済団体を訪問

10月28日(水)に、北海道教育委員会、北海道労働局、北海道経済産業局、北海道経済部の四者の職員が合同で、北海道商工会議所連合会など、5つの道内の主要経済団体を訪問し、来春高校卒業予定者の採用拡大と求人の確保について要請しました。

訪問した北海道経済連合会からは、「高卒者の採用について、各社とも意識が高い。企業側も魅力を伝える必要がある。」と回答をいただくなど、採用拡大に向け、十分な手応えを感じる要請訪問となりました。今後は、来年1月頃に、生徒の就職内定状況が思わしくない管内の経済団体等に対し、道教委の幹部職員による単独の要請訪問を実施する予定です。

### 【訪問した経済団体】

北海道中小企業家同友会、北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道経済連合会 ※敬称略、訪問順



高校教育課長から道商工会連合会の石橋事務局長に要請

# ビジネスマナーアップセミナーを道内4会場で実施



「電話対応」では実際に電話を使って演習を実施

道教委では、生徒の社会的・職業的自立に向けて、必要な能力や態度などを身に付けさせることを目的として、「ビジネスマナーアップセミナー」を実施しています。

今年度は、8月から9月にかけて、北広島西高校、函館商業高校、旭川工業高校、池田高校の4校を会場にして、9校102名の生徒を対象に、専門学校や行政関係から専門の講師を招聘して、就職試験に向けたビジネスマナーやコミュニケーションスキルを身に付ける講座を行いました。

なお、本セミナーは、来年度以降も、別の地域に会場を変更して、継続実施する予定です。

## Topic

# 会社選びの際には労働条件等をしっかり確認

近年、いわゆる「ブラック企業」が社会問題となっています。

こうした中、就職を目指す高校生にとっては、会社選びの際に、労働条件等をしっかり確認することが大切です。

御家庭においては、勤務時間や休憩時間、休日、給与など、お子様がどのような条件で働くのかについて、保護者の皆様も一緒に求人票を確認するなど、社会人経験のある身近な先輩である保護者の皆様がサポートしてあげてください。

なお、求人票を確認する際には、次の資料を参考にすると便利です。

### ○ 「高校生就職活動スタートブック」(厚生労働省埼玉労働局)

<http://saitama-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/saitama-roudoukyoku/seido/hushoku/koukou-startguide2015.pdf>